



天皇杯予選の鬱憤を晴らせるか

写真：宮下響

攻撃陣が奮起した前節とは打って変わって精彩を欠いた前節。選手間のポジションニングの連携不足が致命傷となった形で流経大に久しぶりの勝利を献上してしまった。悪い流れを断ち切りたい今節は勝ち点3で並んでいる慶應大との対戦。直近の天皇杯予選準決勝では相手MFの近藤貴太の突破力と強烈なミドルを前に苦杯を舐めている。近藤は高校3年次にU-18日本代表に選出され、14-15シーズンではJ2の愛媛FCに所属し24試合2得点を挙げた経歴を持つ慶応大イレブンきってのクラック。持前の突破力を武器に攻撃陣の主軸を担う。

一方駒大は、前節の課題を克服し、今後のリーグ戦へ向け弾みを付けたところ。深刻な決定力不足に悩まされる前線に厚みを持たせ、かつ近藤をはじめとした相手攻撃陣を抑え込むプレーが要求される。負傷欠場中の伊勢渉に代わって星キョウワンとコンビを組む上田哲也の重要なプレーが、駒大の攻守の質に大きな変化をもたらすであろう。

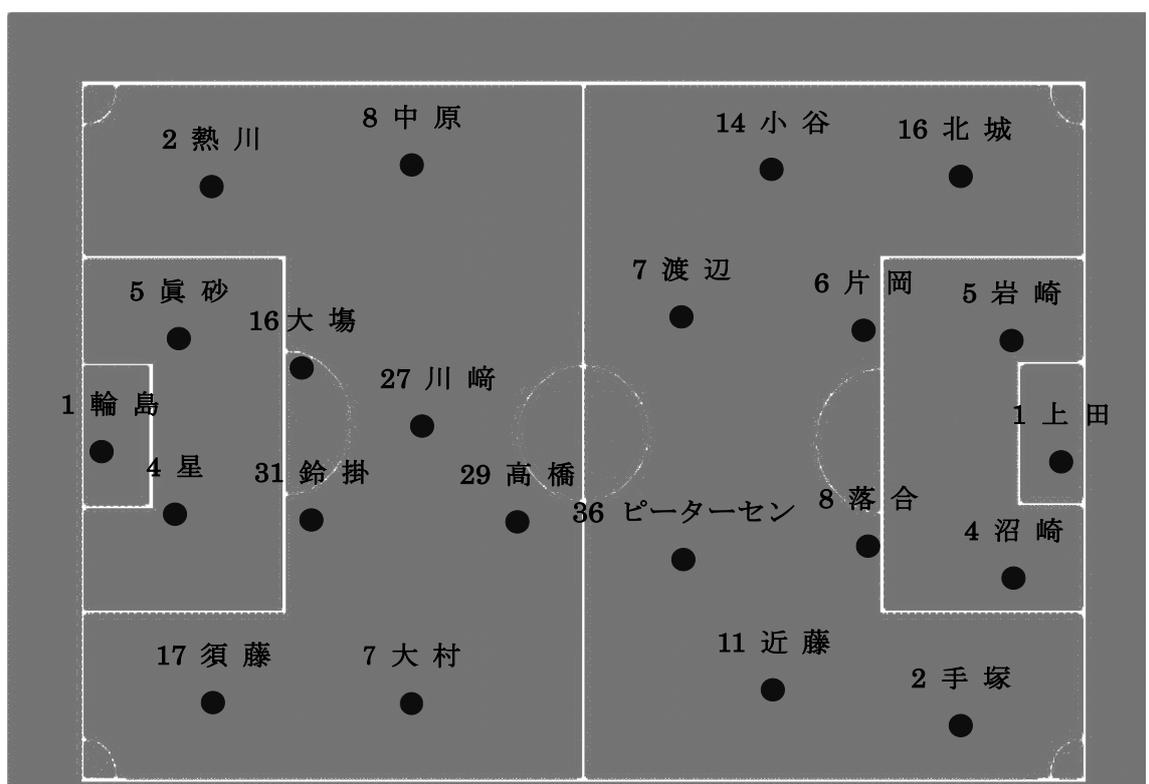
Pick up player



17 DF 上田哲也

慶応義塾大戦予想スタメン

駒
澤
大
学



慶
応
義
塾
大
学

※予想スタメンは過去の公式記録を基に作成しております。